



UNAIDS プレスリリース

グローバルファンド第8次増資で世界が示した連帯の力を称賛

2025年11月24日 ヨハネスブルグ/ジュネーブ 南アフリカのヨハネスブルグで11月21日に開かれた世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）の第8回増資会合にて、資金拠出者（ドナー）から重要な拠出表明が相次いだことを国連合同エイズ計画（UNAIDS）は歓迎します。この会合は、G20 首脳会議開催の機会に、南アフリカのラマポーザ大統領と英国のスターマー首相が主催しました。

世界各国政府などパートナーは、エイズ、結核、マラリアとの闘いを続けるため、113億4000万米ドルの拠出を誓約しました。この拠出で数百万人の命が救われ、保健システムの強化も進みます。HIV 対策に関する不確実性と混乱が増す中で、世界の連帯を示す大きな成果です。

「エイズは終わっていません」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は語ります。「ドナーの皆様が力強い支援に感謝します。誓約された拠出が将来の世代を守り、これらの感染症の流行終結に向けた成果を加速させるでしょう。しかし、さらに前進が必要です。誓約目標は180億ドルであり、目標額とのギャップを埋めるには更なる拠出が必要です」

今回の増資会合はアフリカ大陸では初の開催となりました。主催国の南アフリカと英国に感謝します。グローバルファンドの助成金を受けているアフリカ諸国は、自ら総額5159万米ドルの拠出を表明し、自国の保健システムへの資金提供、およびイノベーションの推進を続けることを改めて約束しています。

各国主導のパートナーシップを積極的に活用し、国内資源の動員をはかるグローバルファンドの新たなアプローチは、持続可能性の確保に向けて責任の共有を目指す UNAIDS のビジョンとも合致しています。こうした投資は、人の命を救うとともに、保健システムを強化し、経済の安定を促し、世界の保健安全保障を推進することになるのです。

UNAIDS はすべてのパートナーに対し、この動きを維持し、迅速に資金をプログラムに反映させることで、支援を必要とする人たちに届くようにすることを求めます。UNAIDS はグローバルファンドとの連携を続けていきます。投資を導く重要なデータと各国レベルでの政策改革、そして予防を最優先に据えることによって、世界的な HIV 対策の混乱を克服しなければなりません。エイズ終結は可能です。

（仮訳：公益財団法人エイズ予防財団）